

ゼオライト主原料

汚泥排水処理剤を錠剤化

福島第1原発事故で、学習一環として全国の汚泥処理で環境負荷放射性物質を吸着させる教育現場に普及させたいの低減を図っている。目や口に入る危険性があるため昨年、タブレット



3年前から東京都名 販売するのは、濁水や古厚市水道局の水質浄化を製造。実験道具を「驚き実験」にした無害汚泥排水処理剤を、小学生を対象にして「驚き実験」を実施。手掛けるネオナイト松島に実験講座を行う「なエール」(1セット48がタブレット(錠剤)にし、江市富士見町、寺山文久、教育現場でも処理剤0円)という商品名を付出版(広島県福山市)を本格的に販売する。商品化し、大型連休明社長。粉末の同処理剤を活用。瓶に入った汚れ、4月から教科書の教通じて全国の小学校にP、松江市では昨年、一部から教育教材として使ったネオナイト法とた水に処理剤を入れて振本格的に売り出す。土味、独自開発した投送でると、たまたま水が透明汚泥場などで活用している汚濁物などを分離させ、に浄化されるため、児童工場の技術を、環境工場や土木工事現場の排の関心を集めたという。

安全性配慮、実験教材に松江の企業

ネオナイトが本格的に販売を始める「驚き実験」(ミドル(下)。上のペイトボトルは実験結果でオレンジ色に濁った水が処理剤で浄化される)の他、小学校でも活用する計画があるという。

寺山社長は「夏休みの実験課題としても使ってもらえる」とPR。「これまで注ぎされていなかった教育現場でも、ネオナイトを送る生かしたい」と述べた。